

まらめき 可児の人

30

廃棄自転車に命を吹き込む

佐藤 昭一郎さん (71歳・清水ヶ丘)

「修理していると、自転車に“まだまだ走れるよ”と言われている気がするんです」。

ささゆりクリーンパークには年間約7,000台の廃棄自転車が持ち込まれます。中にはまだまだ使えそうなものもあります。そんな自転車に新たに命を吹き込んでいるのが、自転車修理室に勤める佐藤さんです。廃棄された自転車の中から程度のいいものを選び、再生しています。「自転車は少しでもずれがあるとバランスが悪くなる。そこを直すのが難しい」と話します。

佐藤さんの手で修理される自転車は年間約120台。ささゆりクリーンパークで行われる抽選会や環境フェスタなどのイベントのほか、地域で子どもたちを見守るスクールサポーターさんなどにも無料で譲渡されています。

「いい人に乗ってもらって、もう一度青空の下をさっそうと走ってもらえたらうれしい」。その日を思い描きながら、今日も修理に励んでいます。



真剣なまなざしで修理する佐藤さん

みなさんの 善意

次の皆さんから寄付がありました。ありがとうございました。(敬称略)

社会福祉に…

- 今渡南小学校
- 広見小学校
- 久々利ふれあい祭り実行委員会
- ピアゴ可児店
- 可児市赤十字奉仕団下恵土分団
- 今渡公民館まつり実行委員会
- 多治見友の会
- 長谷部満雄

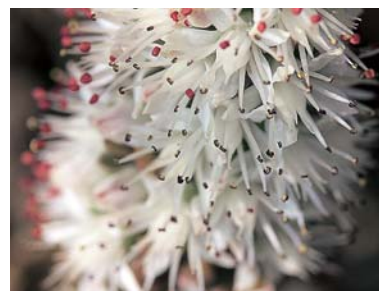
可児川下流域自然公園の 植樹のため

- 株式会社シティリゾート可児
代表取締役 呉本勝男

一市内に生息する貴重な動植物 その12

ツメレンゲ(ベンケイソウ科)

高さ20cm程度の多年草で、花は白色で短い柄があり、9~10月ごろ開花します。葉はロゼット状、多肉質で、越冬葉は狭いさじ形、やや扁平で葉先は硬くなつてとがっており、莖葉および夏の根出葉はやや細く、葉先はあまり硬くなりません。丘陵帯の山の乾いた岩上など日当たりの良い所に生育しますが、生育地が露岩地など特殊な環境に限定され、復元が容易ではないため、生育環境を保全していく必要があります。



○環境省レッドリスト: 準絶滅危惧
○県レッドデータブック: 準絶滅危惧
※生息地については非公表

地球のいのち、つないでいこう
2010年 国連国際生物多様性年

問合せ 環境課



可児川駅

【場所】



問合せ 市史編さん室

ふるさと再発見 23

近代遺産シリーズ①

米寿間近の可児川駅

現存する名古屋鉄道の駅舎のうち、最も古いものに土田の可児川駅があります。大正期には、土田の大脇にライン下りの乗船場があり、観光地としてにぎわう中、大正14年に観光客の利便と誘致を図るために、ライン遊園駅が開設されました。そして昭和3年には、ライン遊園駅から大脇まで、名鉄最初の直営バス路線が開通しています。昭和30年代には、ライン下りの行楽客の多くが今渡や太田から乗船するようになり、大脇のライン遊園は廃れていきました。昭和44年に至り、「ライン」の駅名は日本ライン今渡駅に引き継がれ、ライン遊園駅は可児川駅と改称されました。可児川駅の駅舎は、後の改修はあるものの、ライン遊園駅開設当初のたたずまいを今に伝えています。

学校からこんにちは 8 Educe 9

南帷子小学校

南帷子小学校は、帷子小学校のマンモス化に伴い昭和55年に分離開校し、昨年度30周年を迎えました。平成7年度ごろまでは児童数千人以上の大規模校でしたが、その後次第に減少し、今年度は437人でスタートしました。「自分で考え 心豊かに たくましく生きる子」を教育目標に、「進んで学習する子」「みんなと仲良くする子」「進んで運動する子」の育成に取り組んでいます。

広い校庭の向こうには、子どもたちの宝「わんぱく山」があり、生活科や理科の学習、児童会活動等に活用されています。また、子どもたちは「わんぱく山」の再生をめざして、間伐や階段づくり等に、地域の方々の協力を得て取り組んでいます。毎年10月には、「わんぱく山発表会」が屋外ステージで行われ、子どもたちの学習した成果や歌が発表されます。元気の良い挨拶ができる笑顔のすてきな子どもたちは学校の宝、地域の宝です。



創立: 昭和55年
児童数: 437人
所在地: 東帷子2231
電話: 65-4181



昨年のわんぱく山発表会の様子